早稲田大学日本語教育研究センター

No.6

NEWS

日本語がなかなか 上手にならない…

日本語を 学習したいが どうすればいいか 分からない

日本語に関する質問がたくさんあるけど…

このような

日本語学習のサポートを

必要としている方の来訪を お待ちしています! 🔑



「わせだ日本語サポート」で

日本語の 学習計画に 関する 日本語学習に関する

日本語に関する質問

「わせだ日本語サポート」では、来訪した留学生一人ひとりの日本語学習の問題を共に考え、その人に合った学習を進めていくためのサポートを行います。継続的なサポートを通じ、自律的な日本語学習が実現できるよう、留学生たちを支えています。

「わせだ日本語サポート」 利用案内

2017年4月7日(金)-7月27日(木)

火・水・金 12:00~17:30

秋学期の詳しい情報は、日本語教育研究センターの ホームページをご覧ください。

【場所】早稲田キャンパス 22 号館3 階 WILLわせだ日本語サポート室



「わせだ日本語サポート」は、早稲田大学で学ぶ留学生の日本語学習や日本語を使った学生生活を応援するため、早稲田大学日本語教育研究センターに設置されました。ここでは、早稲田大学の大学院生スタッフが来訪者の日本語学習に関わるサポートを行います。早稲田大学所属の方なら誰でも利用できます。

自分にふさわしい学び方は自分ではわからない? 早稲田大学日本語教育研究センター 所長 舘岡 洋子

みなさんは、すでにいろいろな勉強をしてきていますから、自分にはどんな学び方が合っているかをよく知っていると 思っているでしょう。日本語学習についても、「やはり語学学習の基本は暗記だよね」とか、「ドラマを見るのが一番」 とか、「まずはテストで高得点を得ること」などなど。しかし、なぜ暗記なのか、なぜドラマなのか、「学び方」そのもの について深く考えてきたというよりも、過去の学習経験からなんとなくそう思っているのかもしれません。ここで今まで の自分からちょっと離れて、自分にふさわしい日本語学習について考えてみませんか。ぜひ一度、「わせだ日本語サポート」 を来訪してみてください。

わせだ日本語サポートでは、日本語学習に関してさまざまな情報を得たり、日本語そのものについてわからないことを 質問したりすることができますが、なんといっても大きな特徴はあなた自身の日本語学習についての相談ができることで す。大学院生のスタッフたちがみなさんの日本語学習や留学生活について、いっしょに考えてくれるのです。一般的なア ドバイスをもらう、とか、何か答えを教えてもらう、というよりも、いっしょに考えてもらうことによって、みなさんはたく さんの新たな気づきを得るにちがいありません。自分にふさわしい学び方は、実は自分だけではなかなかわからないも のです。しかし、スタッフといっしょに考える中で新しい発見や気づきがあるでしょう。そのうえで、やはり自分にふさわ しい学び方は、自分自身で決めていくことになるのではないでしょうか。

「わせだ日本語サポート」はこんなところです!/

①チラシ・パンフレット



日本語使用・日本語学習 等に役立つ学内外の情報 のチラシやパンフレット をたくさん用意してい ます。

②情報・イベント

様々な学内外の機関や留学生・日本人学 生の国際交流イベントなどを紹介してい ます。



③日本語学習リソースの棚

日本語の学習に関する情報が得られる リソースを用意しています。



④個別対応スペース



来訪者一人ひとりの声 に耳を傾け、共に考え るため、それぞれの スペースでスタッフ が個別に対応します。 (1 セッション 45 分)

2016 年度 利用者集計

「わせだ日本語サポート」には、多くの留学生が訪れます。私たちは、バラエティ豊かなニーズに応え、より充実したサポートを提供するため、さまざまな取り組みに挑戦しています。



月	人数
4月	28
5月	32
6月	19
7月	19
9月	4
10月	42
11月	41
12月	26
1月	25
合計	236





[開室期間]

2016年4月-2016年7月 2016年9月-2017年1月

[開室曜日]

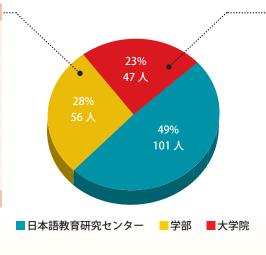
火曜日・水曜日・金曜日

[開室時間]

12:00-17:30

2 所属別利用者数(延べ人数)

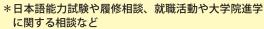
区分	人数
国際教養学部	38
政治経済学部	9
基幹理工学部	6
文学部	3
商学部	3
社会科学部	2
人間科学部	2
創造理工学部	2
教育学部	1
合計	66

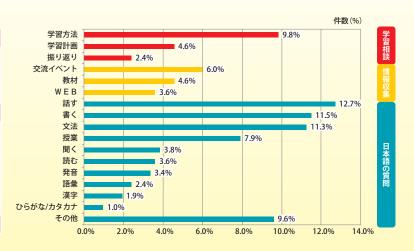


区分	人数
政治学研究科	7
アジア太平洋研究科	6
商学研究科	5
社会科学研究科	5
国際コミュニケーション	5
法学研究科	4
会計研究科	3
創造理工学研究科	3
その他	3
経済学研究科	2
文学研究科	2
教育学研究科	2
日本語教育研究科	2
経営管理研究科	2
基幹理工学研究科	2
人間科学研究科	1
研究員	1
合計	55

3 相談内容(延べ件数)

学習相談	Ę	情報収集		
学習方法	41	交流イベント	25	
学習計画	19	教材	19	
振り返り	10	WEB	15	
日本語の質問				
話す	53	発音	14	
書く	48	語彙	10	
文法	47	漢字	8	
授業	33	ひらがな / カタカナ	4	
聞く	16	その他*	40	
読む	15	合計	417	





「わせだ日本語サポート」における対応事例





友達がほしいんですけど、どこに行けば 友達が作れますか。

友達ですね。

友達と一緒にどんなことをしたいですか。





友達と一緒に日本語を話したり、会話の 練習をしたりしたいです。

日本語を使って交流したいんですね。国際コミュニティセンターの「日本語ペラペラクラブ」はどうですか。





私は日本語で話すだけじゃなくて、いろん な人と楽しく、長く交流したいです。

サークルに入るのはどうですか。定期的にいろいろなイベントも開催されていますよ。







なかなか日本語で話すことができなくて……。でも、ゼミや授業は全部英語なんです。

つまり、日本語で話す機会を増やしたいということですね。自分ではどんなことをしていますか。





今、地域の日本語教室に通っているんですけど、私にはちょっと合わないなと思って……。

そうなんですか。何が合わなかったのか聞かせてもらえますか。





私は、日本語で話したりしながら覚えるのが好きなんですが、日本語教室では文法の説明が多くて、あまり興味がもてなかったんです。

それでは、あなたに合った日本語で交流する活動を一緒に探してみましょう。



▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼■ 事例 3



あのう、日本語の文章を書いたんです けど、ちょっとチェックしてもらえませ んか。

どのような文章ですか。





日本語の作文なんですけど、言葉の使い 方に自信がなくで……。

じゃ、一緒に相談しながら完成までの計画を立てて、より分かりやすい作文にしていきましょう。





私は就職活動のためのエントリーシートを 書いてみたんですが……。

日本語に関する相談ならここで一緒に考えましょう。内容上の相談ならキャリアセンターで専門スタッフからアドバイスがもらえますよ。





卒論の第1章を書きましたが、こんな形式 でいいかどうか分からなくで……。

学術的文章の作成ならライティングセンターで相談するといいですよ。





事例 4



ー生懸命勉強しているんですけど、日本語 が上手にならないんです。

日本語を使って、どんなことができるよう になりたいですか?





日本のアニメを見て分かるようになりたいんです。

今、どんな勉強をしているんですか?





毎日、教科書を読んでるんですけど、いい学習方法がわからなくて……。

じゃあ、好きなアニメを使った学習方法や 学習計画を一緒に考えましょう。



詳細事例①一人さんの事例

学部3年生。卒業後、日本での就職を考えているが、敬語が苦手で不安を感じている。敬語を上手に話せるようになりたいと思って来訪した。

【問題意識を探る】

来訪者もまだぼんやりとしたイメージであるため、話す中で問題意識を探る。

【問題点を掘り下げる】

なぜ完璧な敬語使用にこだわるのか、不安を感じる背景を探る。

【問題意識を明確化する】

目標を明確にした上でもう一度自分の問題をとらえ直せるよう、働きかけを行う。

【リソースを紹介する】

必要な情報が得られるリソースにア クセスできるよう導く。

【振り返りを行う】

前回の相談後、来訪者がどのような 行動をし、現在どのような状態にあ るのかを振り返ってもらい、情報を 共有する。

【来訪者自身の目標を明確化する】

目標を来訪者自身が明確化できるようにする。

【リソースを紹介する】

スタッフ自身の就活経験を開示し、 リソースの存在に気づかせ、来訪者 が自身でアクセスできるよう導く。

初回の来訪

S:スタッフ、A:来訪者

- S:具体的にどんなことが不安なんですか。
- ▲:面接する時や会社に入った後、たくさん敬語を使うと思いますが、今、 全然上手に使えなくで……。
- **S**: そうですか。じゃ、こんな敬語を使えたらいいなぁと考えたことありませんか。
- A:日本人みたいな完璧な敬語。
- S:完璧な敬語? なぜですか。
- A:日本で就職できればいいなあ、と思って。
- **S**:ああ、日本で就職したい、日本語を使って仕事がしたいと考えているんですね。
- ▲:はい、就職のことはまだ詳しくわからないですが、敬語が大事だと 聞きましたから。
- **S**: まずは、日本で就職することに対する理解を深めてみたらどうでしょうか。キャリアセンターに行けば、就職に関する様々な情報がもらえますよ。それを詳しく理解した上でそのために必要なことや、自分の得意なこと・不安なことなど、一緒に考えましょう。
- A:はい。1回行ってみます。
- **S**:行ってみてどうだったか、またぜひ教えてください。



Aさん、キャリアセンターにアクセスし、情報を入手。

3週間後、2回目の来訪

- **S**: キャリアセンターはどうでしたか。
- A:知らなかった情報、例えば就職のスケジュールとか、面接の注意 点などたくさん手に入れました。敬語だけが重要ということじゃな いみたいですね。まずは志望動機など考えるためにエントリーシー ト(以下、ES)を書いてみようと思って。でも、よくわからないので、 今日また「サポート」に来ました。
- S:A さんはどのような ES を書きたいですか。
- ▲:前にキャリアセンターのスタッフにも教えてもらったんですが、わかりやすくて、評価の高いものを書きたいです。
- **S**: なるほど。私も就職活動をしたことがあるんですが、ES を書くために参考図書を読みました。分かりやすく書くためには、いくつかポイントがあるようですよ。
- A:おすすめの本がありますか。私もぜひ読んでみたいです。
- S:購入するなら、生協に行けばいろいろあると思います、例えば『○○』……

詳細事例②一Bさんの事例

修士課程2年生。修了後、自分の国で就職する予定。将来、日本語を使うかどうか分からないが、日本にいる間に日本語を上達させたいと考えて来訪した。

【問題を掘り下げる】

具体的にどのようになりたいのか、 スタッフと話しながら明確化して いく。

【学習計画作成へ導く】

限られた時間を有効に使って学習するために、学習計画を立てるという方法があることを紹介する。

初回の来訪

S:スタッフ、**B**:来訪者

- S:帰国するまでに日本語をどこまで上達させたいですか。
- B: なるべく、日本語話者に近いレベルがよいと思いますが、どうでしょうか?
- **S**: その、日本語話者に近いレベルとは、具体的にどのようなイメージですか。
- B:日常会話がスムーズにできるとか、テレビ番組を見てすべてわかるとか、そん なイメージです。
- S: そういうレベルを目指しているんですね。
- B: はい。
- S:目標に向けて、何か学習計画がありますか。
- B: あまり考えたことがありません。
- **S**: Bさんに合った学習計画を立てることで、やるべきことがはっきりして、時間をより効果的に使うことができますよ。一緒に立ててみませんか。
- B:本当ですか。やってみたいです。でも学習計画を立てたことがないんです。
- **S**: それなら、一緒に考えていきましょう。



Bさん、学習計画を立て、 実施してみる。

【振り返りを行う】

前回立てた学習計画に基づいて実行してみてどうだったかを確認する。

【問題を掘り下げる】

うまくいかなかったことについて原 因や来訪者の気持ちを把握する。

【励まし、調整を促す】

来訪者の状況や感情に理解を示し、調整できることを知らせる。

1週間後、2回目の来訪

- S:自分が立てた計画を実行してみて、どうでしたか。
- **B**:うまく行ったところも、うまく行かなかったところもあります。
- S:詳しく聞かせてもらえませんか。
- B:計画があるので、やるべきことがはっきりしていて、この1週間を無駄にせず、 計画どおりにタスクを実行できたことには達成感があります。また、ここで紹介された「NIHONGO e な」のウェブサイトを使うことで、日本語学習が楽しくなりました。
- **S**: それはよかったですね。
- B:でも、ちょっときついです。
- S: どんなところが大変だと感じますか。
- B:計画を立てて勉強するのは初めてなので、先週はなんとか頑張りましたが、今週は続けられるかどうか……。
- **S**:初めてなので大変だったんですね。大変すぎると感じたら、計画を調整できますよ。
- **B**: そうなんですか。ちょっと欲張りすぎたのかもしれません。
- S:どのように調整できるか、一緒に考えてみましょう。

日本語学習を自分自身でデザインするための「日本語学習ポートフォリオ」も用意してあります。 、 スタッフと相談しながら、自分で日本語学習をプロデュースしてみましょう!

「わせだ日本語サポート」の歩み

発表「院生スタッフが語る『わせだ日本語サポー

ト』一自律的日本語学習の支援一」(日研ひろば)

•••••

2011年3月 | <東日本大震災、授業開始延期>

4月 離日していない留学生のための支援活動開始

4月			ト』一自律的日本語学習の支援一」(日研ひろば)
	(対面、メール、BBS)		報告「学習者の自律的な日本語学習を実現する
	お茶の水女子大学留学生相談室視察		ための支援―『わせだ日本語サポート』利用者
5月	「わせだ日本語サポート」(第1期)開始		へのインタビューから考える―」(WEB 版『日
8月	桜美林大学日本語学習リソースセンター視察		本語教育学会 実践研究フォーラム報告』)
9月	「わせだ日本語サポート」(第2期)開室		http://www.nkg.or.jp/pdf/jissenhokoku/2014_
	―支援活動後のリフレクション・タイム導入		SF_sen.pdf
	―曜日毎のスタッフ・リーダー制導入	2015年3月	「わせだ日本語サポート NEWS No.4」発行
	一ボランティア制度導入	4月	神田外語学院 VISTA 視察
2012年1月	神田外語学院 VISTA(セルフアクセスセンター)		「わせだ日本語サポート」(第9期)開室
	視察		―「勤務振り返りシート」の導入・運用
	facebook ページ開設		一スタッフの自己研修テーマ設定とテーマに基
3月	1.12111		づく振り返りの導入
0,1	一その深さと大切さ一」	6月	スタッフ研修ワークショップ「わたしのビジョ
	「わせだ日本語サポート NEWS No.1」発行	3,3	ンボード」実施
	「わせだ日本語サポート・ナビ」作成(以降、学	7月	「わせだ日本語サポート」プロモーションビデオ
	期でとに適宜修正)	, ,,	作成(日・英・中・韓)
	「わせだ日本語サポート」(第3期)開室	9月	「わせだ日本語サポート」(第 10 期)開室
	一「サポート」専用部屋(22 号館 813)を確保、	10月-1月	スタッフ研修「ポートフォリオの作成と運用」
	整備	10 11 11 11	大ダック研修「小一ドフォッオのIF成と遅用」 実施
		11 🗆	7 332
	─来訪者へのガイドライン策定─週1回の定例ミーティングの導入	11月	ワークショップ「学習アドバイジングを体験しよ
			う!! 一自律的学習に向けた学習計画作り一」(早
	一業務分担制(リーダー、備品、リソース、集計、	40.0	稲田大学大学院日本語教育研究科「日研ひろば」)
	広報)を導入	12月	話題提供「言語教育における自律学習とその支
5月			援を考える一『わせだ日本語サポート』におけ
	グ・ワークショップ」開催		る支援実践を事例として一」(言語文化教育研究
8月	展示「『わせだ日本語サポート』の構築過程に		学会 第 37 回月例会)
	おける躓きと学び一留学生が自律的学習を実現	2016年1月	全大学院生を対象としたスタッフ募集開始
	できる学習環境システムの構築を目指して一」	3月	「わせだ日本語サポート NEWS No.5」発行
	(2012 年日本語教育国際研究大会 日曜つなが	4月	「わせだ日本語サポート」(第 11 期)開室
	る広場)		わせだ日本語サポートスタッフ養成をねらい
	加藤聡子氏・山下尚子氏(神田外語学院)によ		とした GEC 科目「日本語学習アドバイジング」
	るワークショップ「アドバイザー・トレーニン		新規開講
	グ」開催	5月	神田外語大学 SALC 視察
9月	「わせだ日本語サポート」(第4期)開室	5月-7月	スタッフ研修「ポートフォリオの作成と運用」
	―「サポート」に付随するボランティアによる		実施
	サービスとして「日本語なんでも相談デスク」	7月	留学生と学部生の交流会を WILL にて開催
	設置		GEC 科目「日本語学習アドバイジング」履修者
2013年3月	「わせだ日本語サポート NEWS No.2」発行		を対象としたスタッフ募集開始
4月	「わせだ日本語サポート」(第5期)開室	9月	企画パネル「多文化共生キャンパスにおける学
	―「日本語なんでも相談デスク」廃止		生支援を考える一箇所間連携の可能性とオート
	―ボランティア制度廃止		ノミー・問題発見解決能力の育成-」(早稲田大
6月	サポートメモシートの導入		学日本語教育学会 2016 年秋季大会)
9月	「わせだ日本語サポート」(第6期)開室		「わせだ日本語サポート」(第 12 期)開室
2014年1月	神田外語学院 VISTA 視察	11 月	ライティング・センター公開チューター研修
3月		, i	「意図的な質問の仕方」参加
4月	「わせだ日本語サポート」(第7期)開室		セミナー「日本で働きたい留学生集まれ!」(わ
	─「サポート」専用部屋、22 号館 3F WILL 内に		せだ日本語サポート・キャリアセンター共催)
	移転		実施
	「アドバイジング・ポートフォリオ」の導入・	12月	留学生の就職活動・個別相談実施(キャリアセ
	運用	/3	ンターとの連携)
5月			留学生対象ワークショップ「日本語学習ポート
7月			フォリオの使い方」実施
. , ,	とを考えよう」開催	12月-1月	留学生と学部生による「日本語学習ポートフォ
8月	来訪者コメントシートの導入	12/3 1/3	田チエと宇命エによる「日本品チョホートノオーリオ持ち寄り会」実施
0 /3	対話型セッション「学習者の自律的な日本語学習	2017年1月	日本で働きたい留学生のための就職活動セミ
	水品至ピックョン「子自省の日佳的な日本品子自 を実現するための支援―『わせだ日本語サポー	2017年1月	ナー(わせだ日本語サポート・キャリアセン
	を実現するための支援―『わせた日本語サホー ト』利用者へのインタビューから考える―」(2014		ケー(わせた日本語りホート・キャリケゼン ター共催)実施
	午度日本語教育学会 実践研究フォーラム)		ダー共催/ 美施 留学生の就職活動・個別相談実施(キャリアセ
0.8			笛字生の肌臓活動・個別相談美施(キャリアセンターとの連携)
9月		0.5	
11 月	来訪者アンケートの導入	3月	「わせだ日本語サポート NEWS No.6」発行

GEC 科目「日本語学習 アドバイジング」」開講

わせだ日本語サポートのスタッフ養成を目的としたGEC 科目「日本語学習アドバイジング」が2016年4月より開講されました。アドバイジングに必要な理論や方法、日本語学習リソース、留学生に関する情報などが実践的に学べます。この科目を履修した学部生は、わせだ日本語サポートのスタッフに応募することができます。

早稲田大学他箇所との連携

早稲田大学日本語教育学会の 2016 年秋季大会において、企画パネル「多文化共生キャンパスにおける学生支援を考える一箇所間連携の可能性とオートノミー・問題発見解決能力の育成ー」を行いました。日本語教育研究センター、ライティングセンター、留学センター、キャリアセンター、国際意教養学部グローバルネットワークセンターの担当者が留学生支援に関する情報交換を行い、今後の連携の可能性について議論しました。

WILLでの学部生との交流

7月11日(月)、15日(金)、18日(月)、22日(金)に、日本人学部生の企画で、日本文化をテーマに留学生と話したり、書道を体験したりする交流会が開催されました。また、12月1日(金)に、JLP生を対象としたワークショップ「日本語学習ポートフォリオの使い方」を実施し、その後「日本語学習アドバイジング」を履修する学部生とJLP生が「ポートフォリオ持ち寄り会」で学習計画などについて話し合う場を継続的に持ちました。





「日本人学生に 日本の文化を聞く」

「日本語学習ポートフォリオ ワークショップ」

セミナー「日本で働きたい 留学生集まれ!!」 実施

★日時:11月25日(金)および1月17日(火)

12:20-12:50 ★場所:22号館3階WILL

★講師:タン エンセン氏(キャリアセンター)

★使用言語:日本語·英語

わせだ日本語サポートとキャリアセンター共催で、留学生を対象とした就職に関するセミナーを2回開催しました。1)日本での就職活動の



流れ、2) 就職に必要な日本語力、3) 外国人留学生を積極的に採用している企業などに関する情報提供がありました。また、11月30日(水)と1月25日(水)の昼休みには、講師のタンさんによる個別相談がわせだ日本語サポートで行われました。

利用者の高

Pさん 20 代女性 タイ出身 日本語教育プログラム生

私は日本語を話す自信がありません。それに、発表する前にとても緊張していて、あまりできなかったです。サポートのところに来てみました。最初はちょっと怖かったですが、サポートする皆さんがとても優しくて、いいアドバイスをくれました。発表の原稿の文法や、内容もチェックしてくれたから、発表するときに自信を持つようになりました。私はそのときから今までサポートのところに毎週来ます。自分の作文や発表の準備で相談したら、適当な日本語の表現を指導してもらえます。ですから、自分の日本語にあまり自信がない人に日本語サポートがおすすめです。

「わせだ日本語サポート」での経験を振り返って

……なりのこのころ。

「わせだ日本語サポート」のスタッフとして、来訪者にとっての日本語学習とは何かを共に見つめ直していくことの重要性を常に感じています。「文法の間違いをチェックしてほしい」「もっとうまく話したい」という相談の本質に、就職や友人関係構築といった大きな目的が潜んでいることもあります。日本語を通して夢を実現したいという学習者の潜在的な気持ちを引き出し、それを支援するスタッフとしての在り方を考えることを学びました。また、ひいてはそれが自分自身の内省にもつながっていると感じています。

E.Y. さん

今学期、「サポート」で様々なケースに触れながら、自分の学習について熟考することが学習者 オートノミーの育成につながるということにあらためて気づかされました。自分の学習について熟 考するとは、具体的に次の①~⑥ができるようになることではないかと思います。

- ① 学習の目的や問題を特定し、意識化する。
- ② 自身固有の学習の目的や問題に応じた独自のストラテジーを編み出す。
- ③ 学習を進める際、準備→本番というモデルにとらわれない。
- ④ 学習を進める際、要素還元主義的なモデルにとらわれない。
- ⑤ 学習に正解(必勝法、魔法の杖、万能薬)はないということを知る。
- ⑥ 自分の学習におけるリソース選びのセンスを磨く。

支援スタッフの役割は、対話(アドバイジング)をとおし、学習者が自分で①~⑥ができるように支援することです。学習者が提示する目的や問題、あるいは学習に対する様々な思い込みに対し、 疑問を投げかけることがその出発点になります。

N.F. さん

留学という中断はあったものの、2 学期間にわたって「わせだ日本語サポート」に関わり、留学生の日本語の悩みや勉強に関する生の声に接することができたのは非常に有意義な経験でした。相談業務の中で留学時の学生と再会したり、相談者がアドバイス後に報告に来てくれたり、と楽しいこともたくさんありました。

相談業務の中では、悩みの原因を考え、どういう形でアドバイスができるか、常に模索してきました。そして、結局自分のできることはそんなにたいしたものではないし、一緒に考えていく、困ったことを気楽に相談できる場があるということが重要なのではないかと気づきました。話していく中で、相談者の自律学習や問題解決に結びつくようになればもちろん素晴らしいけれど、そうではなくても、日本語について何か相談できる、一緒に日本語学習について考えていく、その中で役に立つことができればと今は考えています。

K.E. さん

「わせだ日本語サポート」では、早稲田大学の院生であるスタッフが、留学生の日本語学習 サポートを行っています。日本語学習にかかわる相談をもって来訪する留学生と向き合い、ま た、ミーティングや勉強会を重ねながら、それぞれが多くの気づきや学びを得ており、それを 次のサポートに活かしています。

毎回毎回、新しい出会いと学びが経験できることは、「わせだ日本語サポート」の魅力だと思っています。色豊かな多くの日本語学習者と接触して、それぞれが抱えている日本語学習に関する悩み等を一緒に話し合ったり考えたりすることができました。毎回のセッションから成長と繋がる良い刺激を沢山もらいました。その一つは、物事をさらに意識的にみることです。学習者が抱える実際の問題だけでなく、学習アドバイジングに関わる姿勢等も意識的に知覚するようになりました。

これからも、「わせだ日本語サポート」を通して、スタッフ、学習者、様々な方々と繋ぎながら 学習アドバイジングを続けていきたいと思います。

F.D. さん

わせだ日本語サポートに入ったのは約半年間が経過しましたが、「アドバイジング」について色々 勉強になりました。初めて「アドバイジング」とは単純に「相談業務」というものでは到底ないと 分かりました。単に「困った」とやってきた来訪者の相談に応じることにとどまらず、生活面にも 繋がる日本語学習問題に援助・助言など、多様な日本語学習の経験とノウハウ、そして実践力が問 われる業務だと実感できました。例えば、ある文法が分からないので教えてほしくて来訪した方に 対して、そのまま教えるのではなく、日本語学習の背景、普段どのように勉強されるのか、またな ぜ知りたいのか把握する必要があり、今後の学習計画を立てたり、調べ方やリソースを紹介したり するのも不可欠だと理解できました。これから実際の事例やケースを通じて、また先生方々やス タッフの皆様から教えて頂いた知識や経験を活かして、アドバイジングの仕事を続けていきたいと 思っています。

T.H. さん

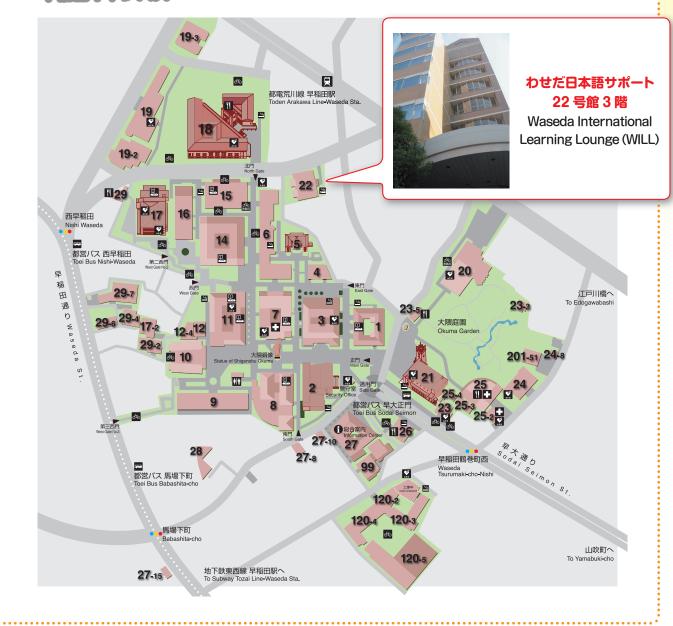
アドバイジングは聞く姿勢を常に備えないと、うまくいかないものです。

一年前私はわせサポに応募しました。日本語学校で勉強したときの経験を活かして、他の留学生の助けになりたいからです。何十回のセッションを経て、活かした回数は一桁だと言っても過言ではありません。なぜなら、人は十人十色からです。問題は人によって違って、同じ問題でも、自分の解決策は他人に通用するとは限りません。同じ人でも時期によって悩みが変わったりします。

スーツのオーダーメイドを想像してみると分かるでしょう。採寸を行うことは基本で、シチュエーションによって服のデザインが変わることもあります。アドバイジングもまず聞き出しから始まります。今あなたの悩みはなんですか? 今まで日本語どれくらい勉強しましたか? これから日本語を使って何がしたいのですか? このような聞く作業を繰り返してはじめて、その方に合うアドバイスを与えることが可能になります。

Y. L. さん

早稲田キャンパス



わせだ日本語サポート NEWS No.6

編集担当 古屋憲章, ジャフリ・ファトマワティ, 江村恵子, 山下恵美子, 林彦賓

ハ・ゴク・トゥイ, 王慧雋, 岩崎浩与司

編集協力 木下直子,武田誠,トンプソン美恵子

発 行 日 2017年3月14日

発 行 者 早稲田大学日本語教育研究センター 所長 舘岡洋子

発 行 早稲田大学日本語教育研究センター わせだ日本語サポート

〒 169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-7-14

電話 03-5273-3142 FAX 03-3203-7672 Email cjl@list.waseda.jp

Website https://www.waseda.jp/inst/cjl/students/support/waseda/ Facebook http://www.facebook.com/waseda.nihongo.support

- ●「わせだ日本語サポート」に関する詳細は、上記 URLからもご覧いただけます。
- このパンフレットの一部または全部を無断で使用、複製、転載することを禁じます。